



治療と仕事の両立支援の相談窓口

産業保健総合支援センター相談員が休みの
とり方、会社との付き合い方、治療のスケ
ジュールに合わせた働き方など、仕事を続け
る上での工夫について、どなたでも無料で相
談することができます。

日時 毎月第3金曜日 10:00～13:00
場所 1階ロビー (インフォメーションでお声をかけてください)

ふくふくサロンについては当面の間、中止といたします。再開が決まりましたらホームページ等でお知らせいたします。

地域医療支援研修会 (令和4年7月～9月) (時間) 18:00～19:00 / (場所) 管理棟 講堂(3階)

開催日	テーマ	講師
7月 28日(木)	オピオイド導入時のポイントと患者・家族ケア	がん性疼痛看護認定看護師 池田 恵里佳
8月 25日(木)	呼吸を見れば急変兆候がわかる	集中ケア認定看護師 岡崎 美幸
9月 22日(木)	手術中体位固定について	手術看護認定看護師 西嶋 和弘

地域医療支援病院の教育活動の一環として、毎月1回(第4木曜の18時～)研修会を開催します。是非ご参加下さい。※事前の申し込みは不要(駐車場は当院外来駐車場をご利用下さい)
※参加される方はマスク着用をお願いします。過去14日以内に、山口県外に移動歴がある方は参加制限をしています。

健康講座の予定 (令和4年7月～9月) (時間) 10:00～10:30 / (場所) 会議室(2階)

開催日	テーマ	講師
7月	6日(水) あなたは大丈夫? かくれ糖尿病	糖尿病看護認定看護師 安田 直子
	13日(水) 乳がんのことをもっと知ろう	乳がん看護認定看護師 日高由衣子
	20日(水) 肺がんの治療について	がん化学療法看護認定看護師 清水 倫子
	27日(水) 手術前に知って得ること	手術看護認定看護師 西嶋 和弘
8月	3日(水) 放射線を用いたがん治療	がん放射線療法看護認定看護師 倉 富 彰
	10日(水) 早目の気づきが大切 ～急変時の対応～	集中ケア認定看護師 前田 友美
	17日(水) NEW 睡眠の話	集中ケア認定看護師 岡崎 美幸
	24日(水) 感染対策の基本	感染管理認定看護師 國弘 健二
	31日(水) 脳卒中を予防しよう	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 安村 美穂
9月	7日(水) 赤ちゃんの五感の発達について	新生児集中ケア認定看護師 安田 さくら
	14日(水) 認知機能低下を防ぐための生活のヒント～コロナ禍において～	認知症看護認定看護師 吉永 奈央
	21日(水) 知っておきたいがん検診とがん予防	緩和ケア認定看護師 柴田 敏子
	28日(水) 喫煙と手術	手術看護認定看護師 丸岡 聖路

教室・相談のお知らせ (令和4年7月～9月)

	実施日	時間	場所	参加費	お問い合わせ
糖尿病教室	当面の間、中止といたします。再開が決まりましたらホームページ等でお知らせいたします。				
なんでも相談窓口	7月・8月・9月(月)～(金)	8:30～17:00	医療相談室	無料	医療相談室
マザークラス	当面の間、中止といたします。再開が決まりましたらホームページ等でお知らせいたします。				

※このたびは、上記の日程は、諸事情により変更もしくは中止となる場合があります。ご了承ください。※腎臓病教室は、入院患者のみを対象とするため削除となりました。

診療実績報告 (令和4年2月～令和4年4月)

	外来患者数	入院患者数	新入院患者数	平均在院日数	救急車受入件数	手術件数
令和4年2月	13,414人	9,763人	749人	11.93日	291件	575件
令和4年3月	16,280人	10,743人	867人	11.58日	298件	659件
令和4年4月	14,859人	10,782人	824人	11.83日	318件	710件

基本理念

「心のかような質の高い医療」
を提供します

基本方針

「患者の幸せ」のため、質の高い
医療の提供を目指します
よりよい医療環境を求めて、地域と共に
保健・医療・福祉の充実を目指します
職員の協働活動のため、
よりよい環境づくりを目指します

患者さんの権利と責務

1. 個人の尊厳を尊重され、医療者との相互の協力関係のもとに良質な医療を受けることができます。
2. 病気、検査、治療などについて、十分な説明と情報をうけることができます。
また、よく理解できなかったことについては十分理解できるまで質問することができます。
3. 十分な説明と情報提供を受けた上で、医療者が提供する検査や治療方法などを自らの意思で選択することができます。
また、他医療機関の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
4. 当院での診療の過程で、医療者が得た個人情報やプライバシーについては厳正に保護されます。
5. 所定の手続きをおとりになることにより、ご自分の診療録の開示をお求めにすることができます。
6. 良質な医療実践のため、自分自身の健康に関する情報を正確に提供する責務があります。
7. すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、他の患者さんの入院生活や病院職員の医療提供に支障を与えないように配慮する責務があります。
8. 安全で優しい療養環境を維持するために、医療に関する法律や病院で決めた約束事などをお守り頂く責務があります。
9. 医療費を支払う責務があります。



地域医療連携室 新体制



今年度、室長代理として活動している。連携が、地域医療連携室を目標とする。

紹介者の受け入れ、情報取得等「病」-「診」への対応を努力している。

事務服をまとった看護師です。地域医療との繋がりを大切に素速く丁寧な対応を心掛けています。

言葉でスピーディーな対応を心掛けています。

明るくかわやかに迅速な対応を心掛けています。

亀永 百合子
Kamanega Yuriko
認定看護管理者
看護師

榎田 ゆかり
Sakakida Yukari
看護師

谷口 裕子
Taniguchi Yuko
認定看護管理者
透析看護認定看護師
看護師

亀永 浩美
Kamanega Hiromi

高瀬 明子
Takase Akiko

地域医療連携室は、室長(病院長)、看護師3名、事務員2名の構成で業務を行っており、主として診療の依頼や、問い合わせに迅速に対応しています。加えて、地域の医療機関を訪問し、顔の見える関係づくりに努めています。ホットラインに関しては、2016年から循環器内科、2021年からは消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科を開設し、緊急患者の受け入れ体制の充実を図っています。今後も地域の医療機関と円滑な連携を図り、紹介連絡窓口として、患者さんに適切かつ高度な医療を提供できるように努力してまいります。

情報を繋ぐ

内科ホットライン

- 消化器内科 090-2176-0840
- 腎臓内科 090-2176-0873
- 呼吸器内科 090-2176-0969
- 循環器内科 090-7377-2301
- 地域医療連携室直通 TEL 083-262-2320
FAX 083-262-2321

※医療機関からの電話のみ受付しています。



紹介患者さんの受診や検査の予約など15分以内にお返事ができるように心掛けています。

診療情報の問い合わせや依頼に、スピーディーに対応いたします。

ホットラインも活用し、緊急時の対応を致します。

Clinical Laboratory

中央検査科 Vol.3



細菌検査室

PCR検査でみんなを救う

細菌 検査室では血液や喀痰、尿、便などの検体を用いて、感染症の原因菌に関する検査をしています。普段皆さんの目に触れることの少ない部署ですが、ここでやっている検査の一部をご紹介します。



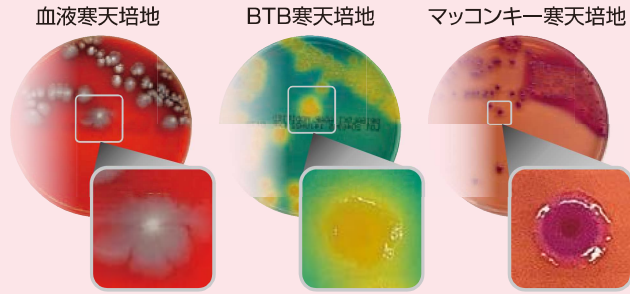
一般検査室

尿のことならお任せください

一般 検査室では尿や便、穿刺液（髄液、胸水、腹水、関節液など）の検査を行っています。今回は最も件数が多い尿検査についてご紹介します。

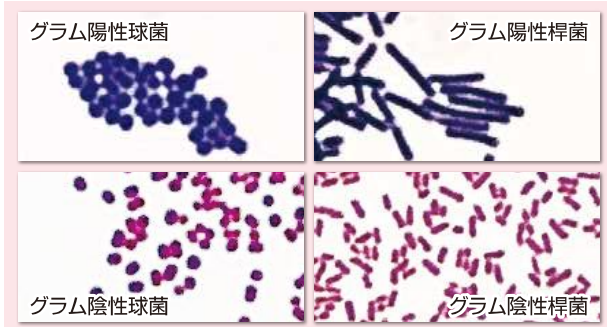


細菌を寒天培地に塗抹している様子



上の写真は同じ大腸菌を別々の寒天培地に発育させたものです。条件によってコロニーの形状や色が異なるのは菌種を同定する上で重要です。

細菌を染色(グラム染色)し、顕微鏡で色や形を観察することで下の写真のように4つに分類します。



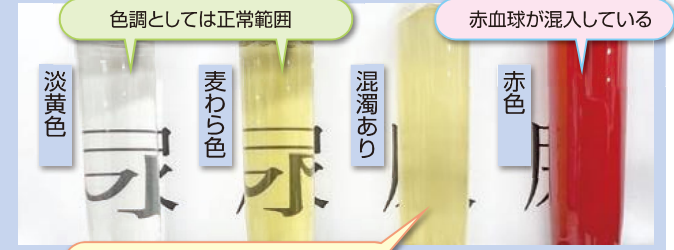
安全キャビネット内でPCR検査を行っている様子

ここで紹介したものを以外に機械による検査なども行って病原菌を同定し、最終的に薬剤感受性試験を行うことによって、最も有効な抗菌薬を割り出し、治療につなげます。また、**COVID-19**や**結核菌**、**非結核性抗酸菌**の**PCR検査**を導入することで迅速に結果を報告し、院内感染防止に重要な役割を果たしています。さらに、感染症に関する院内ラウンドに参加してチーム医療にも積極的に貢献するなど、院内の色々な場面で活躍しています。

尿定性検査: 尿の色調や混濁具合などの外観をみたと、pH、比重、尿中たんぱくや糖、血球成分の有無などを試験紙で調べます。腎・泌尿器疾患に限らず、スクリーニング検査として広く用いられています。



尿に試験紙を反応させて色の変化を観察している様子

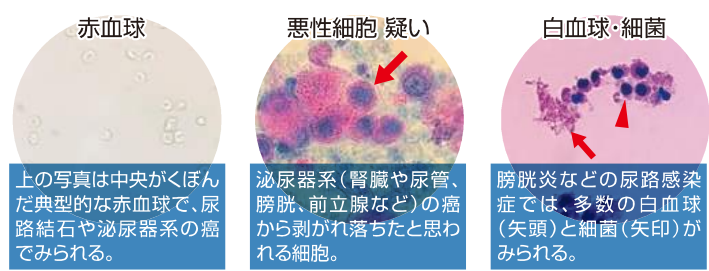


白血球や細菌が混入して濁っている

尿沈渣検査: 顕微鏡で尿中の有形成分の有無や量をみることで、腎・尿路系疾患の診断や経過観察を行います。尿定性試験で異常がみられた場合や、腎・泌尿器疾患が疑われた場合に行われることが多いです。



顕微鏡で観察している様子



上の写真は中央がくぼんだ典型的な赤血球で、尿路結石や泌尿器系の癌でみられる。

泌尿器系(腎臓や尿管、膀胱、前立腺など)の癌から剥がれ落ちたと思われる細胞。

膀胱炎などの尿路感染症では、多数の白血球(矢頭)と細菌(矢印)がみられる。

病院広報誌「ふくふく」のバックナンバーでも中央検査科について紹介しております。併せてお読みください。

秋号 第63号 2021/10/10 発行
Vol.1 「超音波検査室の紹介」
冬号 第64号 2022/01/10 発行
Vol.2 「中央検査科 - 採血から結果報告まで -」

こちらにて→
ご覧いただけます。

<https://www.simo.seiseikai.or.jp/about/publications.html>

腎不全のみならず心筋梗塞や脳卒中などの発症や死亡の危険性が高くなる慢性腎臓病の早期発見や、泌尿器系疾患の治療効果判定にも役に立つ尿検査は日常の診療には欠かせない検査です。このような重要な検査を担う一般検査室では、医師や他部所と連携しながら、正確・迅速に結果を報告するよう日々努力しています。

管理栄養士 Registered Dietitian

今、治療に必要な
栄養管理を考える



治療に必要な
栄養の事、
丁寧に考えて
サポートします。
小島



ただひたすら
出来ることを
全力投球で
取り組みます。
岡本

患者さん
1人1人に適切な
栄養管理を
行います。
森上

糖尿病や腎臓病の
栄養指導や食欲のない
患者さんに訪問して
食事相談を
行っています。
丸山

患者さんが
楽しく食事が摂れる
ような声かけ、
栄養指導を
心がけています。
粟屋

管理栄養士の仕事は近年、給食管理業務から外来・病棟の栄養管理を行う臨床栄養管理まで幅広くなっています。患者さんの治療に必要な栄養管理について、日々医師・看護師・各医療技術者とチームを組んで検討し、リアルタイムに栄養管理の対応を行うため管理栄養士の病棟担当制を導入しています。また入院中だけでなく、退院後の栄養・食事管理も個人に合った内容を計画しています。チーム医療の取り組みとしては緩和ケアチームラウンド、呼吸器カンファレンス、褥瘡回診への参加をしています。病棟にて毎週栄養カンファレンスを行い、多職種での栄養管理の検討が必要な場合はNST(栄養サポートチーム)が介入し、治療に最もふさわしい栄養管理について提案しています。



専門・認定資格	人数
糖尿病療養指導士	1人
病態栄養管理栄養士	1人
がん病態栄養専門管理栄養士	1人
高血圧・循環器予防療養指導士	1人
肝炎コーディネーター	1人
静脈経腸栄養専門管理栄養士	1人
NST専門療法士	2人

NST回診前のカンファレンス



病棟看護師とNSTチームで患者カンファレンスを行い、情報共有をしてから回診しています。

NST回診



ベッドサイドにて患者さんと相談しながら、今後の栄養管理の内容を検討します。

病棟での栄養カンファレンス



病棟では毎週栄養カンファレンスを行っています。日々の食事摂取量、栄養状態、嚥下状態について看護師と管理栄養士で検討し、これらに問題がある患者さんの情報共有を行って対策を考えます。

退院前栄養指導



自宅での食事状況を聞きながら、今後の食事内容について退院前に病棟で個別に指導します。

外来指導室での栄養指導



栄養指導室では自宅での食事管理について必要な内容をフードモデルや資料を使って説明します。